

全校朝会 「 環境を守ろう ―ノーベル物理学賞 真鍋叔郎さん― 」

令和7年10月6日（月）

奥沢小学校長 前田 恵里

スウェーデンという国で、今から4年前の令和3年にノーベル賞受賞者が発表されました。ノーベル賞とは、1901年から始まり、「世界の人々にとって、最も役に立つことに力を尽くした人」へ贈られる世界的にとっても名誉ある賞です。ノーベル賞には、物理学賞、化学賞、医学生理学賞、平和賞、文学賞、経済学賞の合計6つの賞があり、これまで27人の日本人が受賞しています。そして、日本人としていちばん最近受賞した方は、物理学賞を受賞しました。



本校図書室蔵書

その方は、長年アメリカで、天気や気温、雨や風などの気候を研究している真鍋叔郎さん、94歳の方で、受賞当時は90歳でした。

私たちは空気を吸ったり吐いたりしながら生きています。空気には、窒素や酸素や二酸化炭素などいろいろな種類があります。真鍋さんは、今からおよそ60年近くも前に、コンピュータを使って、空気中の二酸化炭素が2倍増えると、気温が2.36度上昇すると予測しました。地球の気温が高くなることを温暖化と言います。その後も研究を重ね、本格的な温暖化の予測に成功しました。

私たちの地球が温暖化になると、様々な危険が予測されています。

例えば、熱中症が危険で外に出られなくなる日が多くなる。今よりずっと大きい台風が発生し、被害もさらに大きくなる。北極の氷が解けるなどにより、海の水が増え、海や川の近くに住んでいる人の家が流される。水不足になり、食糧が不足する。などなどです。

このままだと、2050年には、このような状況になるという予測もあることから、空気中の二酸化炭素を増やさないようにしなくてはなりません。どうすればよいのか。私たちにできることを考えていきましょう。難しい言葉もありますが、誰にでも、いつでもすぐにできることは、電気の無駄遣いをしないことのようなのです。どうして、電気の無駄使いが二酸化炭素を減らすことにつながるのか。他にも私にできることはないか。自分たちで調べてみることは、とても良いことです。

また、奥沢小学校の4年生が社会科の学習で環境について調べてポスターにまとめています。いくつか紹介します。（4年生の作成したポスターを紹介）とても良く描けています。

さて、真鍋さんの研究は、世界中の人々が、二酸化炭素を減らす工夫と努力を重ねることにつながるため、ノーベル賞を受賞しました。

豊かな未来を創る皆さん、25年後は何歳ですか。その頃に、地球の環境が今よりもっと悪くならないように、今からできることを毎日コツコツと続けていきましょう。25年後に後悔しても、時間を戻すことはできません。